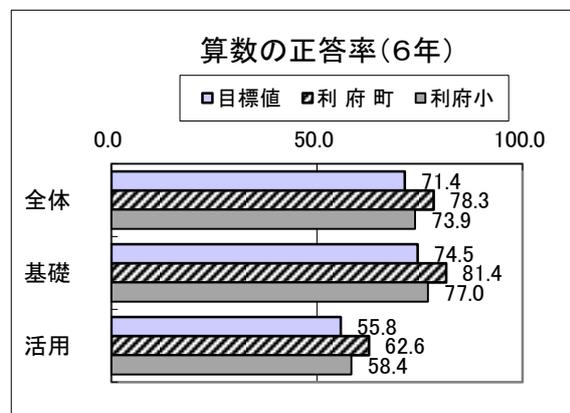
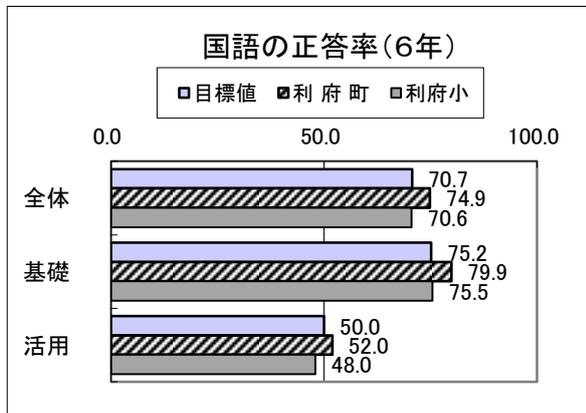


平成30年度 標準学力調査の結果とこれからの取組（6学年）

2学期末に行われた標準学力検査の結果と今後の取組についてお知らせいたします。また、児童には一人一人に検査の結果と学習のポイントが書かれた個人カードを配付いたしました。ご家庭でも学習への取り組み方等についてお子さんと話し合い、励ましの言葉をかけていただければと思います。

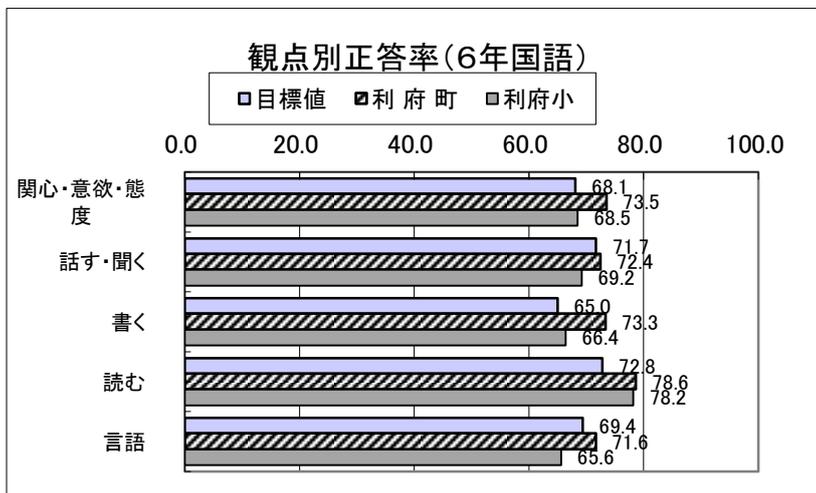
学年全体の結果から

目標値とは、データに基づいてこの数値まで到達してほしいラインを表したものです。実際の正答率とは異なりますが、およそ全国平均の数値と近いもので、結果を比較する目安となる数値です。



- ・ 国語については、全体で0.1ポイント目標値を下回り、学習内容の定着に課題が見られました。特に活用では2.0ポイント下回っていました。
- ・ 算数については、全体で2.5ポイント目標値を上回り、基礎では2.5ポイント、活用では2.6ポイント上回っており、学習内容を着実に身に付けていることが分かりました。

【国語】 ◎ よくできていた点 ● 課題としてあげられる点

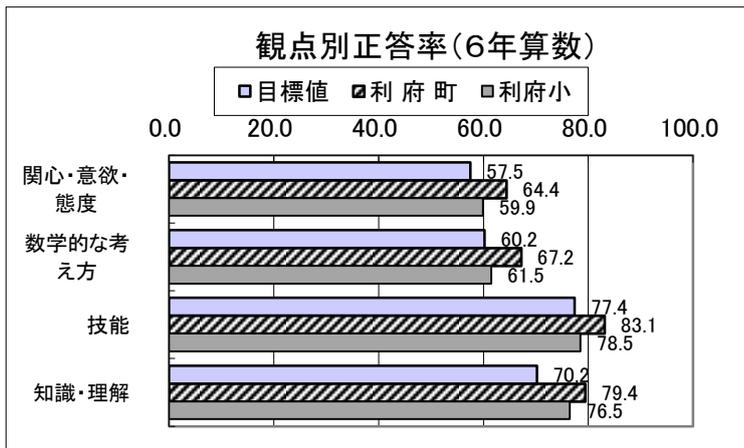


- ◎ 物語や説明文の内容を読み取って答える問題がよくできていました。
- ◎ 第6学年の配当漢字を読む問題がよくできていました。
- 今年度学習した漢字は概ね書けていましたが、前年度学習した漢字を書くことに課題が見られました。
- 敬語の使い方の問題に課題が見られました。

## 【算 数】

◎ よくできていた点

● 課題としてあげられる点



- ◎ 分数のかけ算・わり算の計算や、円の面積を求める問題は、高い正答率になっていました。
- ◎ 線対称の性質を理解し、作図する問題の正答率が高くなっていました。
- 比を使って部分的な量から全体の量を求める問題については、正答率が低くなっていました。

## 今後の取組

☆ 国語では、授業の中で漢字の復習を引き続き行っていきます。また、卒業文集等の指導を通して、段落構成を意識して書かせたり、自分の考えをまとめて書かせたりしながら作文力の向上を図っていきます。

☆ 算数では、これまでの復習を中心に卒業後の数学の授業に向けて、計算スキルやプリント等で間違えたところをもう一度考えさせたり、再度取り直させたりしていくことで、算数の基礎的・基本的な内容の理解を深め、計算や作図する力の定着を図っていきます。

## 個人票『あなたの結果』の見方

### ① 教科正答率 (%)

すべて正解の場合は100.0%になります。「あなた」の欄のお子さんの数値と目標(到達してほしい数値)を比較しておおよその目安としてください。

右側の児童のみなさんへの文章をお子さんと一緒に読んでみてください。

### ② 内容別の正答率

国語と算数それぞれの問題の内容別にお子さんの正答率を表しています。評価は目標値との比較により、3段階で表されています。特に▲は、内容が十分に身に付いていないことを表します。

表の下にはお子さんへのアドバイスが記述されています。自主学習に取り組む際の参考にしてください。

(例) 小学校1年 さんすう

問題の内容	正答率 (%)		評価
	あなた	目標値	
20までのかず	80.0	82.5	○
たしざん	87.5	77.9	◎
ひきざん	65.4	81.4	▲
総合	78.5	79.5	○

▲の評価であるひき算の学習が十分に身に付いていないことがわかります。

※詳しくは、個人票の裏面をご覧ください。

### ③ 領域別のグラフ



『目標値』より内側の値(○の中の部分)は目標に届かなかったことを表します。